

第 43 回栃木県透析医学会 プログラム・抄録集

日 時： 2020 年 10 月 24 日（土） 16：00～17：30

場 所： ホスピタルイン獨協医科大学 1F 会議室

主 催： 栃木県透析医学会

会 長： 獨協医科大学 腎臓・高血圧内科 石光 俊彦

当番幹事： 佐野厚生総合病院 透析センター 村上 円人

後 援： 栃木県透析医会

<当番幹事 ごあいさつ>

栃木県透析医学会

当番幹事 村上 円 人

佐野厚生総合病院 透析センター長

第43回の当番幹事を拝命いたしました。日本のCOVID-19蔓延の影響で通常開催は困難な状況です。日本の8月のCOVID-19累積患者数は4万人を越え、透析患者の新規感染者数も急速に増加しております。日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会の新型コロナウイルス感染対策合同委員会は、8月7日時点の透析患者の全国累積患者数は160人、死亡率は14.4%と報告しております。この死亡率は全国死亡率2.1%のおよそ7倍であり、透析医療におけるCOVID-19対策は喫緊の課題であります。

このような状況を鑑みまして石光俊彦先生にご相談し、第43回栃木県透析医学会はCOVID-19と透析診療をテーマに、最前線でご活躍の先生によるシンポジウムと特別講演のネット配信形式といたしました。検討課題は、透析施設における標準的な透析操作と感染予防、COVID-19遺伝子検査体制、COVID-19受容体のACE2が気道系以外の口腔粘膜、消化管、腎臓、心臓、血管などに発現することによる医療上の様々な課題、発症後の透析管理、行政との連携、病診・病々連携など様々です。少しでも実臨床のお役に立てれば幸いに存じます。

<プログラム>

第 43 回 栃木県透析医学会

期日：2020 年 10 月 24 日 16:00-17:30

会場：ホスピタルイン獨協医科大学より WEB 配信

開会挨拶 獨協医科大学 腎臓・高血圧内科 石光 俊彦

シンポジウム「栃木県の透析患者における COVID-19 の経験」

座長： 獨協医科大学 腎臓・高血圧内科 石光 俊彦

小山すぎの木クリニック 朝倉 伸司

自治医科大学 腎臓内科 齋藤 修

獨協医科大学 腎臓・高血圧内科 藤乗 嗣泰

特別講演

座長：佐野厚生総合病院 村上 円人

「透析医療と COVID19—透析医療の今後を考える—」

埼玉医科大学 総合診療内科 中元 秀友

閉会挨拶 佐野厚生総合病院 透析センター 村上 円人

(視聴のご案内は次頁をご覧ください)

(座長・演者へのご案内は 11-13 頁をご覧ください)